

令和2年3月12日

学生の皆様へ

海外渡航から帰国した学生について

学生支援課

学務課

1. 帰国した翌日から2週間は、毎日体温を朝晩2回測り、やむを得ない場合以外は自宅待機して健康観察してください。

2. 帰国した翌日から2週間以内に発熱(37.5度以上)かつ、せき等の呼吸器症状が出た場合は下記リンク先を参照して、対応をしてください。

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/iryu/kansen/coronasodan.files/madoguchi.pdf>

3. 感染した場合、下記参照してください。

https://www.tokyo-kasei.ac.jp/campus_support/facility/health_center/campus_support/facility/health_center/infirmmary/covid.html/137117a56c5f1d44ec79b6937ce02cb4_1.pdf

4. お願い

厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策専門家会議より、「新型コロナウイルス感染症対策の見解」が発表され、その中に「全国の若者の皆さんへのお願い」と題した文書があります。下記に転載しますのでご一読のうえ、東京家政大学の学生として、これからの行動に反映させるようにしてください。

10代、20代、30代の皆さん。

若者世代は、新型コロナウイルス感染による重症化リスクは低いです。でも、このウイルスの特徴のせいで、こうした症状の軽い人が、重症化するリスクの高い人に感染を広げてしまう可能性があります。皆さんが、人が集まる風通しが悪い場所を避けるだけで、多くの人々の重症化を食い止め、命を救えます。

【参考】厚生労働省「新型コロナウイルス感染症対策専門家会議」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/newpage_00011.html